



こまっ子

2月号
令和4年
2月25日
発行

卒業を迎えるにあたって

3月10日は第71回卒業式です。卒業式は、卒業生にとって中学校生活の総仕上げであるとともに、9年間の義務教育の総仕上げでもあります。意識はしないかもしれませんが、3年生の皆さんの中には、9年間の財産がぎっしり詰まっているのです。この財産が、きっとこれからの皆さんを支えてくれるはずです。

本来であれば、この意義深い節目の行事を、全校生徒と保護者の皆さん、そして学校を支えてくれる多くの皆さんとともに迎えたいのですが、コロナによる体育館の人数制限があるため、やむを得ず、規模を縮小して実施することとしました。特に、1年生の皆さんには、その場の空気を感じてほしかったし、お世話になった3年生に感謝の気持ちを伝える場をつくりたかったのですが、残念な形になってしまい、1年生にも3年生にも申し訳なく思っています。それぞれの人ができるところで、卒業を祝い感謝していただければと願っています。



昨年度の卒業式

卒業していく3年生の皆さんは、いよいよ進む道が分かれていくことになりますね。卒業後は滅多に合わなくなってしまう人も出てくることでしょう。それでも、中学校時代を共に過ごした友達は、何十年たっても気楽に話せる存在になるものです。あなたの中にあり続けるふるさとの大切な財産の一つなのです。

卒業まで残り少ない日々になりました。仲間とともに、4月からの夢を語りながら、大切な時間を過ごしてほしいと思います。

卒業式は、昨年と同様の規模・内容で実施する予定です。保護者の方の参加は2名までとさせていただきます。是非、感染対策にご協力ください。

心温まりました！

巨摩保育所の近くにある交差点では、毎朝、ある地域の方が、小学生や中学生の登校の見守りをいただいています。2月14日の朝も、いつものように小学生の集団登校を、旗を手にしながら見守っていました。一団の小学生が通り過ぎた時、突然、一台の車が、その地域の方の近くに横付けするように停車しました。交差点の近くだし、どうしたのかなと思っていると、運転席と反対

側のドアが開いて、小学生が降りてきました。集団登校に間に合わなくて、ここまで送って来てもらったのかなあ、などと想像していたところ、その小学生は、小さな紙袋を持って地域の方に駆け寄り、紙袋を渡し、何か一言言って車に戻って行きました。地域の方は、何が起こったのかすぐには理解できなかったようで戸惑っていましたが、そのあと、その小学生と母親が乗った車の方を見ながら頭を下げ、手を振っていました。



そうです、その日はバレンタインデー。きっと、紙袋の中身はチョコレートやお菓子で、小学生のことは、「いつもありがとうございます！」だったに違いありません。地域の方にとっては、思ってもみなかった出来事であり、とても嬉しかったと思います。そういったお礼が欲しくて見守り活動をしているわけではないでしょうが、感謝してくれる人がいたことをしっかり確認できたことで、やりがいを実感したと思います。見ていた私まで、心に温かさをいただきました。

しょうちゅういっかん

小中一貫校としてスタートします

今年度は、小学校2校と共に「小中一貫教育の推進」に取り組んできました。コロナ禍により、思うように進められない部分もありましたが、来年度の4月から、「小中一貫校」としてスタートすることになりました。

「小中一貫校」と言っても、小学校と中学校が一つの学校になるわけではありません。それぞれ、これまで通りの小学校、中学校として活動していきます。その中で、小学校と中学校の垣根を低くしてつながりを持った教育を行っていかようとするものです。

学校の名前は、『小中一貫校 南アルプス市立白根巨摩中学校』となりますが、これは、あくまでも小中一貫教育に取り組んでいることを示す通称的な扱いになりますので、通常（公式の書類なども）は、これまで通り『南アルプス市立白根巨摩中学校』という学校名を使っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆さんに感謝です

コロナ感染症の急拡大で、学校も非常に苦しい対応を迫られています。その中でも、早めの欠席をしていただくなどのご協力により、学校内での広がりは防げています。ご家庭のご協力に深く感謝します。

公立高校後期の受験生へ

- ✓ コロナ対策も頑張りましょう。
- ✓ 何しろ困ったときには相談してください（コロナのことも含めて）。

春

が来る！

美化委員が植えてくれたチューリップが芽を出しました！

保護者の皆さんにお願いです

生徒の送迎を車で行っていただくときには、周囲の状況に十分注意して、**ゆずりあい運転**をお願いします。特に、保育所周辺は園児の送迎とも重なりますので、ご配慮ください。